

伝統の踊りを披露するベトナム国立音楽舞踊団のメンバー



ベトナム舞踊団、仙北市民交流

「日本・ベトナム伝統芸能の夕べ」が13日、仙北市田沢湖卒田のたざわこ芸術村わらび劇場で開かれ、来日したベトナム国立音楽舞踊団と同市角館町の住民、劇団「わらび座」が、それぞれ伝統の歌や踊りを披露して交流した。

舞台では、色鮮やかな衣装を身にまとった同舞踊団メンバーが、稲が豊作になった時の喜びを表した「金色の粃」、生き生きとした少女の姿を表現した「ベトナム魂の風」などを演目を発表した。

このほか、「角館のお祭り」に参加する同市角館町の地域住民が囃子や優美な手踊りを、わらび座の団員は北海道の「ソーラン節」や岩手の「山の仕事唄」など、北東北に伝わる労働歌や祝いの舞を披露した。

今年を日本とメコン地域5か国(タイ、カンボジア、ベトナム、ミャンマー、ラオス)との交流年と位置づけ、わらび座とNPO法人「秋田国際交流友の会」、日本国際協力センターが主催した。